

ふよう教室だより

鳥取大学附属特別支援学校

2011. 10. 21 (金)

No.58

秋たけなわ…ゆったいと

穏やかな天候が続き、音楽に、読書、スポーツなど、ゆったりと好きな活動に取り組める季節になりました。日頃、忙しい保護者の皆様もこれを機会に、是非お子さんと一緒に楽しんでみられませんか。新しい余暇の過ごし方が見つかるかもしれませんね。



【コラム23】 “ 口の働き ”

口の機能には実に様々なものがあります。呼吸をしたり物を食べたり、言葉を話したりと生命や生活に欠かせない活動に関わっているのは誰もが知っていますよね。でも、実は口の機能が感覚統合にもとても深く関わっているのです。ここで紹介したいと思います。

(1) **良い目覚めの状態を作り、脳の集中力を高める。**…ものを噛むことは、あごの筋肉や関節を刺激し脳を目覚めさせます。(例：野球選手がガムを噛むことやドライブでガムを噛むことなど)

(2) **情緒の安定を図る。**(例：おしゃぶりや爪噛みで気持ちを落ち着かせようとしている子どもさん)

このように、口への刺激は私たちにとってとても大切な役割を果たしてくれるので、刺激を欲している子どもさんに、むやみに止めさせるのではなく、社会的に認められるもので代用し、気持ちの安定を図っていくことが大切です。次回は、口を使った遊びについて詳しく紹介します。

※ 前回の「お手伝い」の話は如何だったでしょうか？

【小学部の様子】 小学部では、毎日掃き掃除を行っています。新聞紙をぬらし、それを絞って床に撒いて箒で集めます。濡れ新聞をまくことで、どこを掃けばよいか分かりやすくなります。また、濡れ新聞には小さなゴミを集める効果もあります。

① 新聞をぬらす。(蛇口をひねる。水の量を調節する。)

② 新聞を絞る。(握力、腕力)

③ 新聞をちぎる。(指先の力、母指対立)

掃除中には・・・

① 箒ではなく。(道具の操作、目と手の協応)

② ちりとりを集める。(道具の操作、目と手の協応、中間姿勢)

これらの力がつきますが、何よりも、教室がきれいになります。掃除をしたことで、「きれいになったね。」「頑張ったね。」と教師が声をかけたり、子どもたち同士声をかけたりすることで、**役立ち感、満足感・達成感にもつながっていきます。**



にこにこ相談会 ～研修会～

実際に、子どもにお手伝いをさせていらっしゃるお家の方に話を伺いました！！

Sさん

お風呂掃除をさせています。洗ったところが分かるように、洗剤に色をつけています。**とてもよい工夫をされていますね。力の加減が分かり、何よりも満足感が味わえます。**



Mさん

食事をおぼんで運ぶお手伝いをしています。汁物などこぼれやすい物以外を運びます。**バランス感覚を養うのにとてもいいですね！**



Oさん

洗濯物をたたんでくれます。タオルなど簡単にできるものをしてもらっていますが、これからは他の物にも挑戦させてみようと思います。**手の機能を高める良いお手伝いですね。**



【にこにこ相談会】

今年度は、「ふようカード」を作成して、お家や学校でできること等をお一人ずつお伝えしています。それ以外でも個別に相談がある方は、どうぞ事前にお知らせください。